



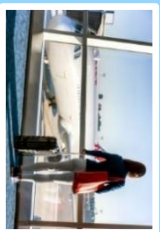
# 北海道創生第2ステージのスタート

## チャンスをつかむ

# 2020

今後10年間の北海道を見通すと、現在招致を目指している冬季オリンピック・パラリンピックや北海道新幹線の札幌延伸までの間、多数のビッグプロジェクトが切れ目なく待ち受けています。  
とりわけ、第2期北海道創生総合戦略(2020～2024年度)がスタートする2020年は、北海道の魅力を世界に強く発信するチャンスであり、この機会を逃さず、北海道の創生の第2ステージを確かなものとしていきます。

### July 1月



#### 北海道7空港一括民間委託

##### ●持続的な交通・物流ネットワーク形成の推進

道内7空港の一括民間委託を契機に、道内13空港を一つと見立て、これらの組み合わせにより相乗効果を創出させるとともに、空港を中心としたMaasの全道展開に向けた連携体制の構築と併せ、事業者や利用者との課題を共有しながら、地域交通の確保や公共交通の利用促進などに取り組みます。

### March 3月



#### 新千歳空港発着枠拡大

##### ●発着枠拡大を最大限活用した本道の活性化

北海道の空の玄関口である新千歳空港の機能強化、利用者の利便性向上に大きく寄与する発着枠拡大を最大限活用し、国や関係機関、空港運営事業者と緊密に連携しながら、道内航空ネットワークの充実に向けた取組を進めるとともに、インバウンドやアウトバウンド需要の更なる拡大などによる本道の活性化に取り組みます。

### April 4月



#### 民族共生象徴空間開設

##### ●「ウポポイ」開設を捉えたアイン政策の推進

本年4月にオープンする「ウポポイ」への来場者100万人の目標に向け、その具体的な魅力発信を道内外に向けて効果的・戦略的に展開するほか、受入環境の整備や誘客促進に向けた需要喚起を図ります。また、こうした取組に併せ、東京2020オリンピック・パラリンピックの機会などを捉え、アイン文化や歴史に触れる機会の創出に取り組みます。

### 2020年前半

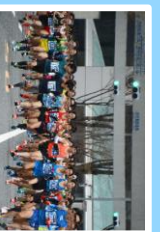


#### 日露地域交流年開会式北海道開催

##### ●ロシアとの地域間交流の深化

日露の地域間交流のトップランナーを自負する北海道で交流年の開会式を開催し、両国の隅々まで交流を広げ弾みをつける交流年のスタートを盛り上げるとともに、ロシア極東地域や欧露部をはじめとするロシア各地に向けて本道の魅力を積極的に発信し、幅広い関係強化と更なる地域間交流の深化に取り組みます。

### August 8月



#### 東京オリンピック開催

##### ●フラインク・競歩・サッカー競技の札幌開催を契機とする北海道の活性化

札幌で開催されるフラインク競歩等の成功に向けて、開催支援はもとより、機運の醸成、来道者へのおもてなしや魅力発信を戦略的に推進するとともに、大会後を見据え、本道経済の活性化や地域振興に結びつけるレガシーづくりに取り組みます。



# 2030年に向けた北海道のロードマップ

Roadmap to 2030 ★ HOKKAIDO

## ピンチを新たな成長へのチャンスに、挑戦する北海道



2020 ● 民族共生象徴空間開設



● 北海道7空港一括民間委託



● 新千歳空港発着枠拡大



● 東京オリンピック  
〈マラソン・競歩札幌開催〉



● 日露地域交流年開会式  
北海道開催

2020

2021



2021 ● 北海道・北東北縄文遺跡群の  
世界遺産登録



● アドベンチャー・トラベル・  
ワールド・サミット北海道誘致

2022



● 赤れんが庁舎改修完了

2022

2023



● 北海道ボールパーク開業

2025

EXPO  
2025  
OSAKA, KANSAI, JAPAN

大阪万博開催

2025

2030



● 北海道新幹線札幌開業



● 札幌オリンピック・  
パラリンピック招致

2030

幅広い世代が集い、つながり、  
心豊かに暮らせる包容力のある北海道